

第5回乳児院上級職員セミナー 開催要綱

1. 趣 旨

近年、我が国では、様々な社会状況や背景の変化が、子育て・子育ての環境に様々な影響を及ぼしています。平成27年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数（速報値）は10万件を超え、過去最多となりました。乳児院では、児童虐待やDV被害の増加により、周産期や乳幼児期の養育課題が顕在化し、入所児の状況や背景は複雑かつ、深刻となっています。今後、すべての子どもの適切な養育環境を保障するために、妊娠期から継続した子ども家庭福祉の強化が必要とされます。

このなかで乳児院の上級職員は、いかなる状況にあっても子どもを中心に考え、ていねいな養育・支援の実践を積み重ねるための専門的知識や養育技術と、支援チームが里親や他施設・機関等と連携して支援にあたるためのリーダーシップが必要です。

本セミナーは、乳児院の上級職員として求められる、養育における専門知識や切れ目のない支援を行うための学び、養育チームをまとめるリーダーとしての資質向上を目的に開催いたします。

2. 期 日

平成28年 **11月24日(木) ~ 25日(金)**

3. 参加費

14,000円（昼食代・宿泊費・意見交換会費は含みません）

4. 参加対象

乳児院の上級職員（概ね7年目以上の乳児院職員、あるいはそれに等しい業務経験と研修履歴のある職員）

5. 定 員

120名

6. 会 場

全国社会福祉協議会 5階会議室



〒100-8980

東京都千代田区霞が関 3-3-2

新霞が関ビル

[最寄駅]

・東京メトロ（地下鉄）丸の内線／千代田線／日比谷線

霞が関駅 A13 出口より徒歩 8 分

・東京メトロ（地下鉄）銀座線

虎ノ門駅 11 番出口より徒歩 5 分

7. 主 催

社会福祉法人全国社会福祉協議会 全国乳児福祉協議会

8. 本セミナーの位置づけについて

本セミナーは、「改訂 乳児院の研修体系—小規模化にも対応するための人材育成の指針—」（平成27年3月 全国乳児福祉協議会）で、全国で行うべき研修として位置づけている乳児院の上級職員に対する研修です。乳児院の上級職員に対する研修内容は9つのカテゴリーに分類し、詳細に獲得すべき内容を示しています。

今回のセミナーで、主に取り上げている内容は下記に抜粋のとおりです。（全文については、『改訂乳児院の研修体系』24頁以降をご参照ください。）

領域	獲得すべき内容（本セミナー企画該当部分の抜粋）
①育ち・育てること	<ul style="list-style-type: none"> ・乳児院の役割を遂行するための知識や技術を学べる体制を、基幹的職員とともに整備する ・施設内の人材育成に関与し、基幹的職員とともに施設の研修体系を構築する ・S V体制の構築やケースカンファレンスの体制等、O J Tが活発に展開できるよう施設の体制等を基幹的職員とともに整備する
②資質と倫理	
③子どもの権利擁護	
④専門的知識	<ul style="list-style-type: none"> ・安全で安心のある暮らし、回復と育ちを促す生活環境を提供するための最新の情報や知識を積極的に学び、職員に伝える ・最新の理論や知見について積極的に学び、職員に分かりやすく伝える
⑤専門的な養育技術	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模グループにおける養育を、S Vを受けながら担う ・小規模グループを担う職員にS Vを行う ・入所前からアフターフォローまで、適宜に必要な手立てを検討しS Vを行い、また、自らもS Vを受ける ・人生の連続性の保障について、より適切なあり方を検討しS Vを行う ・措置変更等に伴う子どもの喪失感を理解し適切な手立てを講じる
⑥チームアプローチと小規模ケア	<ul style="list-style-type: none"> ・チームアプローチが機能するための体制の充実を、スーパーバイザーとともに図る ・職員の孤立、抱え込み、競争、対立、派閥化などの状況に気づき、スーパーバイザーに相談しながらその改善を図る ・小規模ユニットの職員の孤立や抱え込みの防止に努める ・職員同士が支え合う施設文化の醸成について基幹的職員とともにリードする ・職員のメンタルヘルスに気を配り、スーパーバイザーに相談しながら適切な対応を図る
⑦保護者支援	<ul style="list-style-type: none"> ・家族との協力関係がとれるような体制をF S Wや基幹的職員等とともに整え、常にその改善をリードする ・基幹機能的職員、F S Wとともに共に、家族の抱えたりリスク低減に向け、関係機関と協働して支援を行う
⑧他機関連携	
⑨里親支援	<ul style="list-style-type: none"> ・里親支援専門相談員、基幹職員とともに、里親支援を有効に展開するための体制を整える

9. 日程・プログラム

全プログラムにご参加された方には「受講証明書」をお渡しいたします。

■第1日目 11月24日(木)

時間	プログラム
10:00～10:30	開場・受付
10:30～10:45	開講式
10:45～12:15 (90分)	講義Ⅰ 「妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援」 【講師】 ころとからだ・光の花クリニック 院長 白川 美也子 氏
12:15～13:15	昼食休憩 (15分)
13:15～17:00 (225分) ※休憩を含む	講義Ⅱ・演習Ⅰ 「チームアプローチと上級職員に期待される役割」 【講師】 十文字学園女子大学 准教授 潮谷 恵美 氏
17:00～17:15	移動・休憩(15分)
17:15～18:45	交流会

■第2日目 11月25日(金) 開場9時半

時間	プログラム
10:00～13:00 (180分) ※休憩を含む	講義Ⅲ・演習Ⅱ 「乳児院から他施設や里親家庭へ移行する際のつなぎ」 【講師】 ライフデザイン・カウンセリングルーム 臨床心理士 今川 恵理子 氏
13:00～13:15	閉講式

10. 参加申し込み方法

「参加・意見交換会・昼食・宿泊のご案内」をご覧のうえ、申込書に必要事項を記入し、名鉄観光サービス㈱・新霞が関支店にお申し込みください。申込受付後、名鉄観光サービス㈱より、参加券・確認書類・振込依頼書が送付されます。当日までに指定口座に参加費等をお振り込みください。※振込依頼書の控を保管ください。領収証の代わりにさせていただきます。

申込締切日以後の参加費の返金はいたしません。資料の送付をもって対応いたします。参加者・宿泊等の変更・取消が必要な場合の手続きや条件は、別紙案内書をご参照ください。(ご欠席の場合には「受講証明書」の発行はいたしかねます。)

参加申込締切 : 平成28年 **11月10日**(木)

11. 申込書記入事項の取扱いについて

申込書に記入された個人情報は、とりまとめ先：名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店が申込者との連絡の際に使用します。また、本会事務局に提供されます。

宿泊をお申込の場合は、宿泊施設等の提供するサービスの手配や受領のための手続きに利用するほか、利用するにあたって必要とされる範囲で当該施設等に提供します。

本会では、申込書に記載された事項のうち、「都道府県名」「所属先」「氏名」「職名」をもとに参加者名簿を作成し、当日資料として印刷します。なお、参加者名簿は、参加者相互の情報交換・交流促進を図るための基礎的資料とすることが目的です。また、下記 12. の保険手続きのため、必要な情報を利用・提供します。

12. 行商用保険加入のご案内

主催者が、参加者全員分の加入を申し込みます。そのため本研修の申込書には、性別・年齢の記入欄がございますので、ご了解ください。この保険では、研修参加中および往復途上のケガや賠償責任が補償されます。

13. 問合せ先

【研修会内容等】

全国乳児福祉協議会事務局：秋元
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル
全国社会福祉協議会・児童福祉部
TEL 03-3581-6503 FAX 03-3581-6509

【参加・宿泊等】

名鉄観光サービス株式会社新霞が関支店担当：波多野、山辺^{はたの}
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階
TEL 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119